

資料18-2

H-II A ロケット 30 号機の打上げ結果(安全確保状況)について(報告)

平成 28(2016)年 5 月 27 日
三菱重工業株式会社
執行役員フェロー 防衛・宇宙ドメイン 技師長
二村 幸基
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門 鹿児島宇宙センター所長
藤田 猛

1. 報告事項

(1) 打上げ結果概要

X 線天文衛星「ひとみ」(ASTRO-H) (以下、「ASTRO-H」という)を搭載した H-II A ロケット 30 号機を、平成 28 年 2 月 17 日(水)17 時 45 分 00 秒(日本標準時)に種子島宇宙センター吉信第 1 射点(LP1)から打ち上げ、ASTRO-H を所定の軌道へ投入した。

また、本打上げ機会を利用して搭載した小型副衛星 3 基の分離を確認した。

本打上げは、三菱重工業株式会社が打上げ執行に係る業務を執行し、JAXA は打上安全監理に係る業務を実施した。

2. 安全確保業務の実施結果

JAXA は、飛行安全計画、地上安全計画及びその他の要領等に基づき、打上げに係る安全確保業務(射場整備作業の安全、射場周辺の住民への周知、打上げ当日の警戒、ロケットの飛行安全)及び関係機関に対する打上げ情報の通報(ロケット打上げの実施の有無に係る連絡、航空機及び船舶の航行安全のための事前通報並びに打上げ情報の周知)を行った。

なお、29 号機での海上警戒区域への船舶進入による打上げ予定時刻変更を踏まえ、航空機による上空からの海上監視、巡回警戒船の追加配備等の対応策を講じた。これら対応策の効果により、当初予定時刻に打上げを実施した。

また、投棄物(SRB-A、衛星フェアリング、第 1 段機体)について、すべて設定した落下予想区域内に落下したと推定している。



H-II A ロケット 30 号機

3. 次号機以降への対応

JAXA は、打上安全監理完了確認会にて、今回の海上警戒運用含めた 30 号機の評価を行い、反映事項を抽出した。

次号機以降に向け、抽出された反映事項の処置を行う。

以上